

目次

ハロウィンイベント開催	1～2
ふれあいコンサート	3
糖尿病お食事会を開催しました	4
国立病院総合医学会ポスター発表に参加して	5
北新地区福祉と健康まつり	6
朝日通りえびす講まつり	6
障害者虐待防止への取り組み	6
外来医師担当表	7

発行：独立行政法人 甲府病院 広報委員会
国立病院機構

発行責任者：萩野 哲男

住所：〒400-8533 山梨県甲府市天神町11-35

電話：055-253-6131

ファックス：055-251-5597

ホームページ：<https://kofu.hosp.go.jp/>

Eメール：227-nhokofu@mail.hosp.go.jp



本栖湖より



独立行政法人
国立病院機構
National Hospital Organization Kofu National Hospital

甲府病院の理念

理念 私たちは、良質な医療の提供を通じて、患者さんの健康を支え、地域社会に貢献します

基本方針 ●丁寧な説明に努めます ●自己研鑽に励みます ●職員同士協力し合います

私たち職員は、理念を実現するため最善を尽くします
病院は、職員の働きやすい環境を積極的に提供します



ハロウィンは、利用者のニーズに合わせて企画し、多職種で連携して実施をしています。それぞれの病棟、通所が、今年はどんなハロウィンイベントを楽しんだのか、ご覧ください。



『賑やかに過ごしたハロウィンパーティー』

6病棟



6病棟では、仮装パレードやハロウィンおやつを楽しみました。仮装パレードでは、みんなで仮装をして散歩に出掛けました。外の風を感じながらわいわいとした時間に、皆様も自然と笑みがこぼれていました。

ハロウィンおやつでは、「シクル洋菓子店」にご協力をいただき、皆様が食べやすいかぼちゃのモンブランを提供していただきました。モンブランを口にした皆様の幸せそうな様子に、見ている職員も幸せを分けていただきました。

利用者の皆様と職員が一体となり、笑い声があふれるハロウィンになりました。



『ハロウィンの森から君は抜け出せるかな？』

7病棟



7病棟のハロウィンは、デイルームをハロウィンの森に変えて色々なブースをお好みに観賞されました。コウモリが飛びかうコウモリの森、おばけや大きなかぼちゃのランタン、影絵で浮かびあがる黒ネコや魔女、大画面でナイトメアが踊っていたり、ワクワクドキドキしながら楽しみました。影絵が大きくなったり小さくなったり、不思議な世界を皆さんよく注目されていました。仮装して、病棟内をパレードして、居室に戻りましたが、笑顔が沢山みられました。





『笑顔いっぱいのハロウィンウィーク』

8 病棟

8病棟では、ハロウィンコスチュームを身につけて賑やかに写真撮影をしました。

スタッフの声かけに笑顔を見せてくださる利用者様も多く、笑い声が聞こえてきそうな写真が多く撮影できました。また、手を使ったり、製作をすることが好きな利用者様と一緒にランタン作りも行いました。出来上がったランタンにライトを入れて、「ハロウィンスヌーズレン」も行いました。デイルームがいつもと違ったハロウィンの雰囲気に入れ、幻想的なひとときを過ごすことができました。



合言葉は「ハッピーハロウィン☆トリックオアトリート」

通所

通所では利用者・職員みんなで仮装をし、病院敷地内を散策しながらのスポットでお菓子のやり取りを行いました。合言葉は「ハッピーハロウィン☆トリックオアトリート」。スポットにいる見慣れない仮装職員に戸惑いながらもお菓子を手に伸ばす方や、繰り返される合言葉に笑顔を見せてくださる方などそれぞれに楽しまれていました。

また近隣の住民、下校中の小学生や保育園児とも「ハッピーハロウィン！トリックオアトリート！」と声を掛け合い交流することができました。長く続く声の掛け合いに利用者みなさまも明るい表情をされている方が多く、お互いに良い機会となったようです。



ふれあいコンサート

令和6年11月17日 コラニー文化ホールにて、山の都ふれあいコンサートが開催されました。ふれあいコンサートとは、障がい者と健常者の枠を超えた多くの仲間たちが、コンサートやミュージカルを通じてより深く大きな”ふれあい”の輪を広げ、互いに交流することを目的としているコンサートです。今年は「やさしさを“つなごう”」をテーマに全国から集まった詩や曲を発表するオリジナル曲コンサートとミュージカルの2部構成になっていました。

当院では、重症心身障害病棟に入所されている方の中に、“作詞”をされる方が数名おります。その方々が書いた詩をふれあいコンサートに応募し、今年は2名の方の詩に曲がついてステージで発表されることが決まりました。

当日は会場またはオンラインで参加をさせていただき、お二人とも作詞した曲を聴きながら、感情豊かに過ごされていました。

オレの願い

大坪 正之

俺には願いがある

それは 温泉にゆっくりつかること
おいしいモンブランを 食べること
家族と会って 話をすること
昔一緒に過ごした人たちに 会うこと

何から叶えていこうかな



心にいるおばあちゃん

関 紀代美

ここに出てきて
あたしに会いに来て
そしたらいっぱいおはなししたいな
おかしも一緒に食べたいな
ここに出てきて
あたしを抱きしめてほしいな
心にいるおばあちゃん
ずっと大好きだよ
ずっと大好きだよ

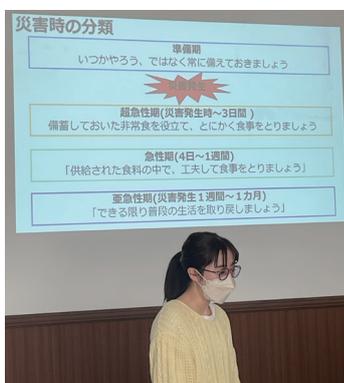


糖尿病お食事会を開催しました

毎年院内の糖尿病療養指導チーム主催で行っている公開講座 糖尿病教室（糖尿病お食事会）を、11月9日（土）甲府市内のレストランパセリで開催し、12名の方にご参加いただきました。

ランチを食べながら糖尿病に関する講義を行う形式で、毎年参加される方もいる、大変ご好評いただいている講座となっております。

ちなみに今年のランチメニューは食べ応えのある豚のオイスター炒めとお野菜たっぷりの副菜、デザートにほんのりと甘く煮たさつまいもとリンゴの重ね煮までついた低エネルギー・うす味ながら食べ応えのあるメニューでした。



今回は『災害に備えよう！糖尿病の私は、どんな備えができる？』というテーマに沿って次のような講義を行いました。

- ①管理栄養士より平時より備蓄した方がよいものの紹介と、ローリングストックのやり方、発災時の食事のとり方についてお話がありました。また、ドラッグストアで購入できる備蓄食品の現物紹介も行いました。お土産に、水を注ぐだけで食べられる α 米等のサンプルもお渡ししました。
- ②DMATの小児科望月医師より、避難生活で気を付けるべきこととして、被災地では思ったとおりの食事が摂れなくなること、災害直後は生きるために必要な食事を摂り日数や状態が改善するにつれて食事内容に気を付けること、避難所のリスクとして感染症やエコノミッククラス症候群が起きやすいこと等についてのお話がありました。
- ③理学療法士からは、避難生活でもできる体操の実演がありました。普段の生活にも取り入れられる椅子を使った運動をご紹介します、参加者だけでなくスタッフも一緒に体を動かしていました。

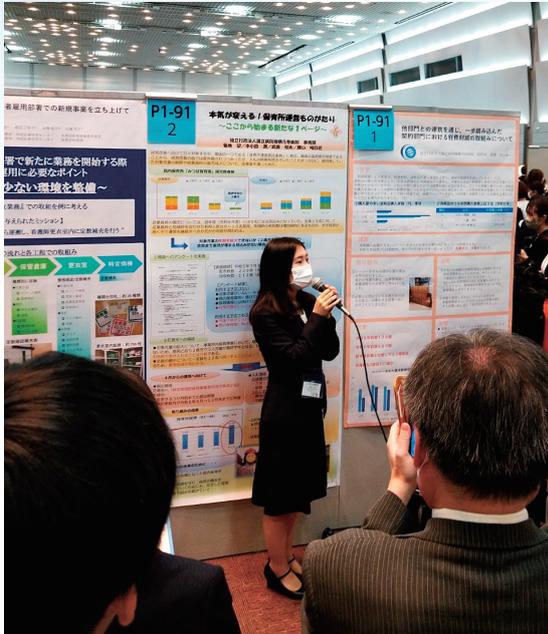
また、食前食後に血糖値や、インボディで筋肉量・体脂肪量を測定しアドバイスをする等、和気藹々の雰囲気で開催することができました。

糖尿病で受診された際にご案内差し上げているほか、院内の掲示板でもお知らせしておりますので、ご興味のある方はぜひ来年ご参加ください。



国立病院総合医学会ポスター発表に参加して

企画課契約係 渡邊 さとみ



10月18日に大阪で開催されました第78回国立病院総合医学会へ、ポスター発表者として参加してきました。

他部門との連携を通じた経費削減の取組みをテーマとしたポスターを作成し、事前に院長先生、副院長先生をはじめ病院の幹部職員の方々や他職種の方を前にしての「予演会」で発表する機会が設けられ、緊張しましたが多くのアドバイスをいただき、より良いポスターに仕上げることができました。また、発表時の声の大きさ、話すスピード、目線等についても改善の余地があることを知ることができて、良い機会となりました。

学会当日、会場であるグランキューブ大阪に近づくにつれ、他の病院からとみられる集団が続々と集まってきて、大会の規模や国立病院機構という組織の大きさを感じました。普段、他病院の方とは電話やメールでやり取りすることはありましたが、こうして実際に会ってみると、多くの仲間が国立病院機構の掲げる目標という同じベクトルを向いて業務に取り組んでおり、その一員であることを誇りに思いました。

会場入りして、まずは「NHO 事務職員の人材確保戦術」と題した、入職3年目以内の事務職員による新卒採用に関するシンポジウムを聴講しました。「病院の事務職員の採用だから医療事務が仕事」と勘違いされることが多いことや、入職後に感じる就職活動時のイメージとのギャップがあったことなど、率直な意見を聞きました。どの発表者からも多くの人に国立病院機構についてもっと知ってもらいたい、仲間を増やしたいと思っていることを感じました。

続いて自分の発表を迎え、大勢の諸先輩が聞きに来て下さる中で行われたため、予演会で感じた以上にたいへん緊張しました。しかし、声ははっきりとゆっくり目に、時折、聞いてくださってくれる方々へ視線を配るなどの課題もクリアできたと思われ、発表を終えた後は達成感が得られました。

準備期間に比べれば、本番はあっという間の出来事でしたが、普段味わうことのできない密度の濃い時間を過ごすことができました。また、学会を終え、一般消耗品の購入状況などに関心を持っていただいた方から院内で声をかけていただくことがあり、発表を頑張ったよかったと実感します。今回得られた刺激や経験を糧に、令和6年度後半も頑張って業務に取り組んでいきたいと思えます。

北新地区福祉と健康まつり

10月13日(日)、昨年に引き続き本年も北新小学校において、第26回北新地区福祉と健康まつりが開催され、北新地区の住民が多数参加されました。当院からは来賓として萩野院長が挨拶をおこない、演題として整形外科千賀進也医師が「骨粗しょう症と膝の痛みについて」の講演をおこないました。参加された皆さんは大変関心を持って聴講されている様子でした。また、病院案内のパンフレットも参加者に配布し、より多くの住民の方に甲府病院のことを知ってもらう良い機会となりました。



朝日通りえびす講まつり

令和6年11月23日(土)に第90回目を迎える朝日通りえびす講まつりに本年度も参加してまいりました。催し物として「骨密度測定・お薬相談・栄養相談・握力測定」を行いました。当日は快晴となったものの、気温が低く風もあり日陰では肌寒い状況でした。骨密度測定では計測するために足にアルコールスプレーを噴霧する必要があり、訪れた方には寒い思いをさせてしまいましたが、測定結果を受けて今後の生活習慣の見直しや、健康を考える良い機会になっていれば嬉しいです。



障害者虐待防止への取り組み

甲府病院内での障害者虐待防止の意識を高める目的で、職員に標語を募集したところ186首と数多くの応募がありました。そのなかで職員がいいと思う標語に投票を行った結果2つの標語が最優秀賞に選ばれました。

令和6年度 障害者虐待防止標語 受賞作品

最優秀賞

虐待を するも止めるも あなたの手
その行動 大切な人に できますか

看護部 外来
看護部 七病棟

*院内で障害者虐待防止に関する標語の募集を行い、投票の結果最優秀賞を得た作品です。

令和6年度一日平均患者数

(小数点以下第2位は四捨五入)

※ 11月分及び年間累計は12月1日現在

月別 種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
一般	97.1	100.4	97.6	95.2	103.6	84.0	83.3	103.9					95.6
重心	123.0	123.0	121.5	121.5	122.2	123.1	122.5	123.1					122.5
計	220.1	223.4	219.1	216.7	225.8	207.1	205.8	227.0	0.0	0.0	0.0	0.0	218.1

※ 11月分及び年間累計は12月1日現在

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
外来	256.1	249.2	258.5	265.0	252.4	270.2	253.0	253.2					257.1

国立病院機構甲府病院 外来医師担当表

2024年12月1日現在

Table with columns for days of the week (月, 火, 水, 木, 金) and rows for various medical departments (消化器内科, 消化器外科, 内科, etc.) listing attending physicians.

●受付時間 初診/午前8時30分～午前11時00分 再診/午前8時20分～午前11時00分 (再診で予約を取られている方は予約時間まで)
(※水曜日午後呼吸器内科の受付時間は13:00～15:00です(診察13:00～16:00))
●各科診療の予約状況により、初診及び予約外再診の方の外来診療をお受けできない場合があります。泌尿器科の初診の受付はありません。

※右記のものについては事前の
●小児科 専門外来 ●毎月第4金曜日午後 外来糖尿病教室 ●出生前遺伝カウンセリング外来
●乳児健診 毎週火・金曜日 ●予防接種(小児科) 毎週木曜日

助産師・看護師による専門外来のご案内
●母乳外来(月～金曜日) ●フットケア(開催曜日はお問い合わせください) ●育児相談(月～金曜日)(※事前の電話予約をお願いいたします)

特殊外来ご案内
●「物忘れ外来」については、脳神経外科(月・火・木・金曜日)で行っています。(物忘れ外来の初回受診時は、紹介状が必要です。紹介状がない場合は、外来診療をお受けできない場合があります)ご家族が「忘れることが多い」と気づいたら、受診されることをお勧めします。

作品募集
「てんじん」に掲載する写真等の作品を募集しています。
■宛先 国立病院機構甲府病院 経営企画室 金子
e-mail:kaneko.yoji.va@mail.hosp.go.jp

2024年度職員採用試験案内
看護師・助産師・看護助手の採用試験(パート)は随時行っています。
申し込み方法 ※下記の電話番号に(平日8:30～17:15)直接ご連絡下さい。
連絡先 国立病院機構甲府病院 庶務係長
TEL:055-253-6131 FAX:055-251-5597

編集後記
いよいよ今年も残り少なくなりました。日本のみならず世界各地でも地震や水害など多くの自然災害を見聞きし、我々も日ごろから備えておくべきことを考えさせられる一年でした。今やるべきこと・できることからしっかりと対策を立てておくことをお勧めします。
来年は社会情勢も進展した実りある年になりますように! (編集委員 K・S)